問合せ

○ながはま市民活動センター 長浜市役所〈本庁舎3階〉 平日 8時30分~17時15分 〒526-8501 八幡東町632 ○北部サテライトセンター きのもと交遊館 水·日曜日 9時~21時 〒526-0425 木之本町木之本1118

今月の表紙

喜びの光があふれた街!

30

の文字が浮かびました。

(7月1日撮影)して30年。 お祝い

お祝いに訪れた人々の手によって点された1万個もの灯り

徴である黒壁ガラス館が誕生

3 65-6525

katsudou@city.nagahama.lg.jp

市民活動に関する事務作業や打ち合わせなどにご利用ください!

西浅井地域 買い物・生活支援スタート

西浅井地域は、65歳以上の人口割合 34%を超えるとともに少子化や若者の 流出で過疎化が進んでいます。特に高 齢者世帯では近隣に小売店がなく買い 物に行けない、身のまわりのことが十 分にできないといった悩みが深刻で す。こうした不便の解消に努め、地域 で支えていこうと、ボランティア団体 「スマイルサポート西浅井」が発足し ました。

団体の設立に先がけて地域づくり協 議会を中心に組織した委員会が、町内 全1,271世帯に生活に関する困りごと を問うアンケートをとり、実態を把 握。またサポート側として協力ができ るかどうかも質問事項に組み入れ、メ ンバーを募りました。

有志住民21人で団体を組織、協議会 や社協、民生委員、自治会などと連携 し、4月から本格的に始動。地域内の 食品雑貨店が集落に出向いての移動販 売や町外の大型スーパーへの買い物同 行のほか、個々の住民への依頼に応じ ての草とりなどを行っています。

団体の代表で、協議会の会長山口 正之さんは「試行錯誤が続いています が、誰もが安心して暮らしていける西 浅井をめざし、地域が一体となって取 り組んでいきたい」と話しています。



▲集落に出向いて移動販売を行う買い物支援の 取り組み。写真は菅浦集落。

余呉地域づくり協議会 イベント情報

○夏の恒例イベント「余呉湖ふれあい ビアガーデン」

余呉湖は、四季折々の自然に囲まれ た景観の美しさに加え、刻一刻と風情 が移り変わる夕暮れどきの眺めも魅力 的です。地域の宝を多くの人に知って もらい、幅広い交流の機会にしたい と、世代を超えて楽しめる音楽ライブ などの企画も。日中は余呉湖一周の散 策で汗を流し、夕方からはふれあいの ひとときを…。そんなプランはいかが ですか。

【と き】7.8月の金曜(7月20日、 27日、8月3日、10日、 17日、24日、31日) 18時~21時 ※荒天の場合は中止

【ところ】余呉湖観光館(下余呉) ○街道間をつなぐ「宿場コネクト」

江戸時代、北国街道木之本宿(木之 本町木之本)から今庄宿(福井県南越前 町)までの道のり10里(約39km)を一日 で歩いた――。こんな歌が、南越前町 に残っています。実際にこのルートを 歩き、歴史に思いをはせ宿場をつなぐ (コネクト)催しです。

福井側からも同県からの参加者が木 之本へ向けて出発。両者が合流する余 呉町中河内では、交流を兼ねて昼食夕 イム。中河内のおふくろの味たっぷり のお弁当をいただきます。半分の距離 の約20kmコースもあります。

【と き】9月29日(土)7時出発 ※雨天決行·荒天中止

【コース】A.鉄人(39km)コース<定 員15人>…JR木ノ本駅集 合・出発ー中河内集落に て昼食-17時ごろJR今庄 駅にて解散(福井側からの 出発も可能)

B.チャレンジ(約20km)コ ス < 定員20人 > ...集 合・出発は同じで、中河内がゴール。木ノ本駅ま で主催者の用意した車で 戻ります。

【参加費】A.4,000円 B.3,500円 【持ち物】動きやすい服装、保険証、 水分等のほか、交流企画の 交換用おみやげ

【申込締切】8月31日(金)

<mark>問・申</mark> 余呉地域づくり協議会 (余呉湖観光館事務所)

(286 - 8037)(平日9時~17時)

こんな活動してます!

NPO法人 長浜観光ボランタリーガイド協会

盆梅展シーズンの慶雲館や黒壁界隈など市内の史跡や名所で、えんじ色のジャケット姿で観光客を案内する人 を見たことはありませんか。長浜の語り部として観光客をもてなす同協会のメンバーです。

県内初のボランティアガイド団体として昭和59年に結 成。依頼に応じ、案内箇所の基礎知識はもちろん地元で語 り継がれる逸話などを交えて紹介しています。

現在60~80代の55人がメンバーとして登録。年間のべ 2000回にものぼる出動をしています。より良いガイドに向 けて歴史学習や実地研修などを頻繁に実施する傍ら、メン バーそれぞれの個性や得意分野を生かす形をとろうと自己 研さんにも励んでいるのが特徴。なかには写真や手づくり パネルを用意し、わかりやすい説明に努めるメンバーもい ます。

ガイドを受けた人が「へー!なるほど!」と耳を傾けて くれることがいちばんの喜びであるとともに、長浜の魅力 を伝えることが自らの郷土愛につながっています。



▲メンバーは常時募集中。詳しくは事務局のある湖北観光情報 センター四居家(65-0370)へ

